

# 経営学部 リフレクションペーパー

2021年度 <前期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 流通システム論 I (火曜2限・木曜6限の2クラス開講) 商学A (火曜5限、商学科1年a・bクラスの商業パートを担当)
1. アンケート結果に対する総評 「この授業を受けて良かったと思いますか」という設問に対して、商学A [aクラス] が 8.5、商学A [bクラス] が 8.8、流通システム論 I [火曜クラス] が 8.8、流通システム論 I [木曜クラス] が 8.7 であり、昨年度より若干評価は下がったものの、おおむね高い評価を得られたと捉えている。ただし、商学Aでは両クラスとも受講者の 1/3 以上が回答したのに対して、流通システム論 I [火曜クラス] では 17.0%、流通システム論 I [木曜クラス] では 8.4%という低い回答率にとどまった。Web アンケートへの回答を促すための方策を学部単位 (もしくは全学単位) で検討すべきであろう。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 流通システム論 I は、これまでの受講者数の多さから、当初よりオンデマンド (非同期) 形式での実施を余儀なくされた。商学Aでも、結果的には初回講義以降を除く全ての授業がオンライン (同期型) での実施となった。スライドショーを眺めるだけでは受講者の集中力が続かないと考え、SE やイラストをスライドショーに挿入したり、映像資料を多く用いたりするなどの工夫をこらしたほか、商学Aでは講義内容に関連するアンケートを授業中に実施するなど、“授業を視聴している”ではなく“授業に参加している”という感覚を受講者に与えることを心がけた。
3. 今後の改善点 今回のアンケートの中の「質問や意見に教員は適切に対応してくれましたか」という設問や、中間アンケートでの「質問等はいりやすいですか」という設問に対する回答結果が、他の設問と比べて芳しくなかった。オンライン授業では教員から受講者への一方通行の授業になりがちであるという問題点は当初より意識しており、例えば、授業後に毎回実施する小テストには自由記述形式の質問欄を設け、寄せられた質問とそれに対する回答を Google Classroom を通じて全受講者と共有するようにした。また、一部の受講者に対しては (商学Aの期末レポートでは全員に対して)、採点結果を返却する際に、理解の不十分な点を指摘したり発展的な論点を提示するためのコメントをつけた。しかしながら、これらは教員にとって非常に大きな負担であった一方で、これらの取り組みがあっても学生にとってはまだ不十分であったかもしれない。この問題を解消するためには、学生が心理的なハードルを感じることなく気軽に質問できるような仕組みづくりに加えて、TA を導入して簡単な質問 (操作に関するものも含む) に対応させることも真剣に検討すべきではないかと感じた。
4. 学生へのメッセージ 昨年度に引き続き制約の多い環境下で学修に励む皆さんに敬意を表します。「オンラインだったから仕方ない」ではなく「オンラインでも十分に満足できた」「オンラインだからこそなお一層満足できた」と思っただけのような授業を実施すべく、これからも努力します。